

(社)東洋音楽学会関西支部 支部だより

Newsletter of the Kansai Chapter, Society for Research in Asiatic Music
第 43 号(2002 年 3 月 20 日)

☆☆☆定例研究会のご案内☆☆☆

●第 208 回定例研究会

と き：2002 年 4 月 20 日(土) 13:30~17:00

ところ：神戸大学発達科学部 C-101 号教室

(阪急六甲駅、JR 六甲道駅下車。どちらも神戸市バス 36 系統(鶴甲団地行き)に
乗り、「神大発達科学部前」下車)

第一部(13:30-15:00) 卒業論文・修士論文・博士論文発表会その 1

- (1)田淵夏季(卒業論文) 「唱歌『故郷』の創作と現代日本における受容」(大阪音楽大学)
- (2)宮島幸子(卒業論文) 「校歌の研究」(大阪音楽大学)
- (3)寺田真由美(修士論文) 「宴会文化の中の音楽—昭和 30 年代の小唄ブームと民謡ブーム
を中心に」(神戸大学総合人間科学研究科)

第二部(15:15-17:00) 講演

講演者：マーガレット・サーキシアン(Margaret Sarkissian, Dept. of Music,
Smith College)

題 目：「マレーシアにおけるポルトガル系コミュニティの音楽—『正統性』をめぐって」
(仮題)

●第 209 回定例研究会

と き：2002 年 6 月 22 日(土) 13:30~17:00

ところ：国立民族学博物館 第 1 演習室

(・阪急茨木市駅、JR 茨木駅、北大阪急行千里中央駅よりバスで日本庭園前下車
徒歩 10 分。

・大阪モノレールで万博記念公園駅、または公園東口下車 徒歩 10 分)

第一部(13:30-15:00) 卒業論文・修士論文・博士論文発表会その 2

- (1)植山視保子(修士論文) 「バリ島のゲンジェツ・パフォーマンスの成立と展開」
(京都市立芸術大学音楽研究科)
- (2)大渡敏仁(博士論文) 「播州の毛獅子舞の研究—その伝播・伝承・変容をめぐって」
(大阪芸術大学大学院芸術文化研究科)

(3)田鍬智志(博士論文) 「舞楽左方舞の動作様式に関する史学的研究」
(大阪芸術大学大学院芸術文化研究科)

第二部(15:15-17:00) 展示見学

民博特別展示 「2002年ソウルスタイルー李さん一家の素顔の暮らし」の見学

☆☆☆定例研究会の報告☆☆☆

東洋音楽学会関西支部第 207 回定例研究会報告

とき：2002年2月9日(土)14:00-17:00

ところ：神戸大学発達科学部 C-101 号教室

研究発表

(1)法田典子「金井喜久子(1906-1986)生涯と作品について：『民謡編曲歌曲』を例に」

報告：株本真里

本発表は、昭和に活躍した沖縄出身の作曲家である金井喜久子が、沖縄民謡の普遍化を目指しどのように作品を生み出していったのか、そのプロセスを生涯と作品分析を通して考察しようとしたものである。

金井は沖縄県宮古島に生まれ、中野音楽学校で声楽を、後に東京音楽学校作曲科で作曲を学ぶ。卒業後も東京で創作活動を続け、第二次大戦後より沖縄本土復帰に至る期間、特に沖縄民謡を素材とした歌曲を数多く残している。沖縄本土復帰後は舞台音楽の創作、またひめゆり平和記念館資金造成運動等の活動を精力的に行うなど、生涯を通して沖縄への思いが尽きることはなかった。本発表は、金井作品の中でも最も多い「民謡編曲歌曲」が創作されていく過程に焦点をあてたものである。金井は創作活動の基盤とも言うべき沖縄民謡の採譜活動を約2年にわたって東京で行った。法田氏は、その集大成として出版された採譜集『琉球の民謡』と、さらにその後沖縄民謡を編曲した独唱歌曲集《沖縄のうた》《沖縄のわらべうた》をテキストとして、作品の比較分析を行っている。

法田氏は、採譜集『琉球の民謡』で紹介された民謡が、独唱歌曲集《沖縄のうた》《沖縄のわらべうた》でどのように扱われているのかを、歌詞・旋律・拍子・リズム・伴奏形態等の項目別に比較分析を行い、譜例と音源によりそれらの相違を具体的に示した。氏によると、旋律は民謡をほぼそのまま使用しているものの、和声やリズムはいたってシンプルな形態が選択され、歌詞は方言の訳詞、標準語の表記が頻繁に試みられているという。つまり、金井は民謡鑑賞の手引きとして『琉球の民謡』の中で民謡の五線譜化を行い、民謡を「土の匂いそのまま保存」しようとした。そして《沖縄のうた》に見られるように、歌詞の標準語化を含め旋律を生かしたシンプルな編曲を沖縄民謡に施していくことが、万人に実際に歌われる歌、つまり沖縄民謡の普及につながると金井は捉えていたと結論付けた。

質疑応答では、琉球王朝時代に芸能奉行を務めた名門の家に育ち、沖縄の民謡歌手であ

る高良カナを実姉に持つなど沖縄の民謡と縁の深い環境に身を置く一方で、幼い頃から西洋音楽システムを学んでいく金井がどう沖縄を表現していくのかという議論が展開され、宮良長包との比較も話題となった。金井自身と面識があった質問者からは、実際歌われている民謡と金井の採譜集との違い、さらに金井の採譜作業中のエピソードが紹介され、本発表で用いられたテキストそのものを再検証していく必要性が指摘された。

本発表には、五線譜神話ともいえる問題、さらに地方と中央の問題等、時代背景が生み出すキーワードが数多く潜んでいる。これまで真正面から研究されることがなかった金井喜久子という人物像を明らかにしていくことは、作曲家研究、沖縄研究だけでなく様々な文化研究の可能性を含んでいると言えるだろう。氏自身が提示した金井が言う「沖縄民謡の普遍化」とは？という問いに向かうためにも、作品分析にとどまらない、多角的な研究の成果が修士論文で発表されることを期待したい。

(2) 藤田隆則「登場人物の役割と謡の旋律性一能を、平家、文楽、歌舞伎と比較する」

報告：渡邊浩子

本発表は、日本の古典演劇である能、文楽、歌舞伎と平家物語を語る平曲の比較をおこなうことよって、能のナラティブの特質を浮かび上がらせることを試みたものである。四つのジャンルに共通した作品である『俊寛』が対象曲となった。

発表者は図式化をおこない、観客と演じ手が共有する劇場空間と劇中空間を設定した。劇場空間とは現実の世界でありそこで経過する時間はすなわち現実の時間である。それに対して劇中空間は演じられている劇中の世界すなわちバーチャルリアリティーの世界である。この図において二つの空間は交わりを持つ。さらに発表者は、それらの世界の中に観客、ナレーター、モノローグする人物、会話する人物という四つの役割を設定し、前述の四つのジャンルにおいて演者がどのように表現していくのかという点についての比較をおこなった。

平曲を語る琵琶法師はナレーターの役割を受け持ち、とくに声色などを用いて登場人物を語り分けるということはおこなわない。能において役者は、会話、あるいはモノローグをおこなうがそれらはナレーションで結ばれるというパターンをとる。役者が劇中の人物表現のみならずナレーターの役割をも併せ持つという手法は、能が演劇的ではないとも感じさせるものである。文楽においては義太夫語りや詞と地合、色などを語り分けることによってセリフとナレーションを表現していくがセリフと詞とは必ずしも一致しない。歌舞伎においては舞台の上の役者がセリフを語るという点において文楽におけるよりもさらに分業が明確におこなわれる。以上の比較を通して能における旋律の重要性を指摘する。旋律性は現在の時間と劇中世界における時間との時間差を生み出す。そして、演者の関心はいかに上手く歌うかという点にあることを述べた。さらに、平曲、能、文楽、歌舞伎という日本古典芸能において物語のリアリティーを支えているのは、まさに旋律、声という音響的側面であることを結論付けた。

この発表に対して、義太夫におけるセリフの表現、能における同音について、さらには、バーチャルリアリティーに問して、そして西洋のオペラにおける合唱と能の地謡との比較に関する質問があった。

このように伝統演劇のナラティブについて比較し図式化を図ることによって諸ジャンルにおける特質の一つの側面を言い当てることが可能である。しかし、当然それぞれのジャンルの表現法には図式から漏れ落ちる様々な表現法がおこなわれる。そのような問題点はあるものの、伝統演劇の特質を大きく捉えるということは重要であり、そこからみえてくる結論に新鮮な感覚を感じさせる発表であった。

☆☆☆ 関西支部からのお知らせ ☆☆☆

●関西支部定例研究会への発表申し込み方法について

関西支部では、定例研究会での会員相互の活発な活動を期待しています。研究発表等は下記の宛先にお申し込みください。その際、発表の種別(研究発表、資料紹介、研究演奏、調査報告など)、題目、使用機器、発表希望月、所属、氏名、連絡先を明記してください。

関西支部定例研究会発表申し込み先

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1 国立民族学博物館
寺田吉孝(例会・広報担当理事) 研究室気付
e-mail:terada@idc.minpaku.ac.jp

●入会申し込み方法・住所変更について

入会ご希望の方は 80 円分の郵便切手を同封し、下記の学会本部事務所へ入会案内・申し込み用紙をご請求ください。住所等の変更につきましても同事務所までお知らせください(関西支部ではお取り扱いしておりません)。

〒110-0001 台東区谷中 5-9-25 第2八光ハウス 201号
(社)東洋音楽学会
tel:03-3823-5173 fax:03-3823-5174 e-mail:LEN03210@nifty.ne.jp

(社)東洋音楽学会関西支部

〒580-0033 松原市天美南 1-108-1 阪南大学南キャンパス 櫻井研究室気付
e-mail:sakurai@hannan-u.ac.jp